

夢のかけはし

音楽を通じて 心のバリアフリーを 広げたい



昭和61年生まれ。鹿屋女子高校卒業後に霧島市の短期大学へ進学。外食産業の会社に勤めていた時に演奏活動を始め、平成24年に西原1丁目に、翌年には寿5丁目に音楽教室を開校。(32歳)

市内で2か所の音楽教室を営む傍ら、県内外のイベントに参加し、エレクトーン演奏で来場者を楽しませる活動を行っています。
エレクトーンを始めたのは5歳の時。テレビCMで演奏されているのを見て一目惚れし、市内の音楽教室に通い始めました。
趣味が続けていただけだったので、自分が人前で演奏するとは夢にも思っていませんでしたが、21歳の時、行きつけのカフェの店長さんから依頼を受け、イベントでお客さんを前に演奏を披露すること。初めての経験でしたが不思議と緊張感はなく、音楽って楽しいなど改めて感じた瞬間でした。
この演奏をきっかけに他のイベ

ントにも呼ばれるようになり、平成23年には、障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しむ「第1回」のおきの音楽祭inかのや」に参加しました。
それまで、障がいのある人とあまり関わったことが無く、どのように接したらよいか分からず不安に思っていました。皆一生懸命で、何よりも素直に音楽を楽しんでいることに気が付きました。
ただ参加するだけでなく、6年前からは実行委員として運営に携わり、また、今では事務局長として、福祉事業所との連絡調整やポスター・パンフレットの作成などの事務作業も担当します。運営側の立場になることで、色々なイベ

エレクトーン イベントプレイヤー

よしなが ちえ 吉永 智恵 さん

ントでエレクトーンを演奏させてもらう喜びを、より一層感じています。
「とっておきの音楽祭」に参加するようになってから、障がいのある人も私の教室に来てくれるようになりました。コミュニケーションを取るのが難しい面もありますが、音楽を楽しみたいという気持ちは皆同じだと思います。
これからも、様々なイベントに参加して、エレクトーンという楽器を知ってもらい、その魅力を多くの人に伝えていきたいです。
また、音楽を通して、障がいのある人となりが関わり合い、つながりを持てるような社会になってくれればうれしいです。



【右】「とっておきの音楽祭inかのや」では、伴奏で会場を盛り上げる。今年は5月3日(金・祝)に開催。【左】パンフレットには出演者が「音楽」をテーマにデザインした絵が描かれている。

4月16日(火) 9時5分から FMかのや に 吉永 智恵 さんが出演